

今号の内容

1. 待機児童ゼロ作戦
2. 富士山静岡空港
3. 今回の一般質問
4. 写真でみる最近の話題
(連絡先 TEL 23-3091)

待機児童ゼロ作戦

一人の女性が一生の間に産む子どもの数の平均は(合計特殊出生率)、現在1.3人程度で、子どもの数はだんだん減っている状況です。30年前と比べると日本全体で1年間に生まれてくる子どもの数は半分近くになっています。外国で「日本の子どもは絶滅危惧種」などという侮辱的な記事も現れたほどです。このままでは社会全体に及ぼす影響も大きく、様々な対策

が実施されています。一方、女性の社会進出に伴う子育て支援の必要性も指摘されています。(少子化対策・子育て支援策の必要性)。その一つが『待機児童ゼロ作戦』です。掛川市では本年度末までに待機児童をゼロにすべく対策をしています。更に、第2子も第1子と同じ園に入れるようにするなどのきめ細かな対策が求められています。



掛川こども園(20年9月)



建設中の(仮称)中央幼保園 (20年9月)

掛川市の待機児童の現状

H17年4月	45人
H18年4月	22人
H19年4月	14人

待機児童... 認可保育所への入所申し込みがされており、入所要件に該当しているが、入所できていない児童のこと。

掛川市の出生率、出生数、子どもの数

年度	出生率 (出生数/人口×1,000)			出生数 (日本人のみ)	子どもの数 (0~12歳)
	国	県	掛川市		
H17	8.7	8.6	8.0	1,036人	14,184人
H18	8.7	8.8	9.5	1,086	14,064
H19	8.6	9.0	9.2	1,073	13,927

富士山静岡空港

来年3月開港予定

開港まであと半年となりました。滑走路などの施設が大方完成し、開港後の利用客をいかに獲得するかがこれからの課題です。掛川市でも市の振興とどう結び付けるかの議論がなされています。

3月にはチャーター便で、市長と行くソウルツアー(掛川、菊川、御前崎、牧の原の4市長)も企画され、PRに努めたいとのこと。

掛川駅をより利用しやすくする各種の工夫、空港と結ぶバス路線の開設、空港での特産品の販売などを検討しています。

地権者の反対や、一時は不要論も出るなど、難産の末にやっと完成しますが、どれだけの利用客があるか、掛川市へのメリットはいかほどか、期待したいものです。



完成予想図

参考：静岡空港の紹介

- 1) 駐車場 約2,000台(無料駐車場)
- 2) 新幹線掛川駅から約20分
- 3) 就航先(現在までの決定分)

路線	時間	航空会社	便数	想定座席数	
国内線	新千歳(北海道)	日本航空	1日1往復	150席	
		全日本空輸	1日1往復	120席or126席	
	福岡(九州)	約1時間25分	日本航空	1日3往復	150席・50席
	那覇(沖縄)	約2時間15分	全日本空輸	1日1往復	120席or126席
国際線	ソウル(韓国)	約2時間10分	アジアナ航空	1日1往復	177席

4) 予定バス路線



9月20日の中日新聞より



管制塔(9月22日)

市長が陳謝（一般質問）

（通告要旨：一部省略してあります）

1. 少子化対策、子育て支援策について
 - (1) 掛川市の出生率、出生数、子どもの数はどうなっているか
 - (3) 待機児童数の現状及び見通しと、それに対する対策を伺う
2. 「ワークライフバランス」について
 - (1) 「ワークライフバランス」にどう取り組むか市長の考えを伺う
3. 病院経営について
 - (1) 経営改善中期計画の進捗状況・成果を伺う
 - (4) 累積赤字が心配だが、どのように考えているか
4. 新病院建設に伴う地域医療連携の仕組み構築について
 - (1) 地域医療連携の仕組みを整えることは、新病院の条件であると考えている。いつから、どのような形で、誰が主導的立場に立って、この議論を始めるべきと考えているか
5. 下水道整備計画の基本方針について
 - (1) 下水道整備方針は「農業集落排水事業については、上内田地区を最後に浄化槽市町村設置推進事業へ切り替える」と認識している。最近、これとは矛盾する市長の発言を聞いた。改めてこの整備方針を確認する



質問風景（20年3月撮影分）

（質問を終えて）

待機児童は20年度末には解消できる見込みであることを再確認しました。新病院の建設協議が山場を迎えていますが、協議が成立しても新病院が出来るのは早くとも4年先です。現病院をどう運営していくのかも重要な課題です。新病院は二次医療に特化した運営の構想です。地域医療連携をどう構築するかが重要な課題になってきました。なるべく早く議論を始めるべきですが、市長の答弁は慎重なものでした。下水政策に関しては、市長の発言が迷走しており、混乱を招き始めていました。間違いを正し方針をしっかりと確認する予定でしたが、答弁はいきなりの謝罪で始まったため、少し残念？（質問の目的は果たしたが、もう少し追求するつもりだったので）な結果でした。

写真でみる最近の話題（7月～9月）



桜木地区婦人トリムバレー大会
（7月6日、桜木小学校）



北京パラリンピック出場選手激励会
（7月12日、掛川グランドホテル）
謝辞を述べる山本篤君（吉岡）



掛川市消防団査閲大会（7月27日、エコパ）
ラッパ隊の勇姿



大東砂の祭典（8月3日）
暑い中のビーチバレー大会の熱戦



桜木地敬老会（9月15日、桜木小学校）
七福神降臨



市民スポーツ交流フェスティバル（9月21日）
掛川東高マーチングバンドの演奏

